

## ●世界の主な地震

平成 22 年（2010 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

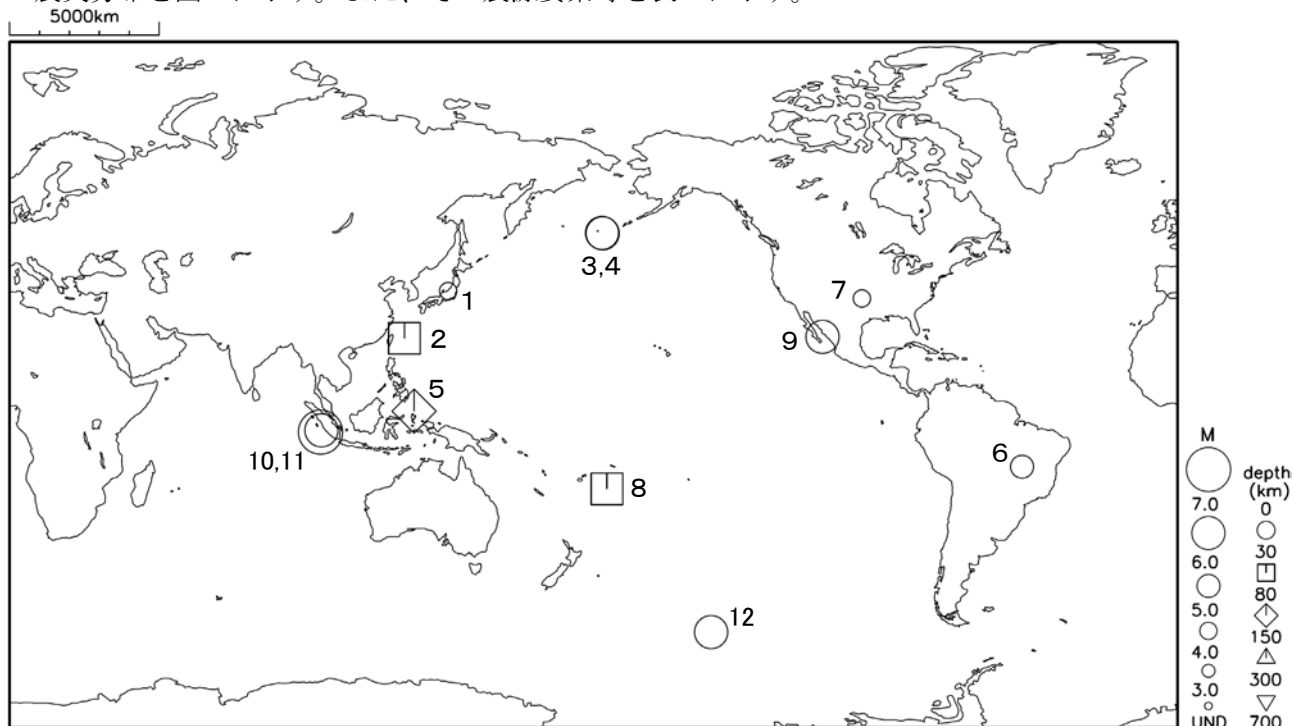


図 1 平成 22 年（2010 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

\* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

\*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

\*\*\*: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 22 年（2010 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	印洋	遠地
1	10月03日09時26分	N37° 08.3'	E138° 25.1'	22		(4.7)	(4.7)	新潟県上越地方	非住家一部破損15棟、水道管漏水3箇所			
2	10月04日22時28分	N24° 13.0'	E125° 20.1'	53	6.2	(6.4)	(6.3)	宮古島近海				
3	10月08日12時26分	N51° 22.4'	W175° 21.6'	19	6.2	6.3	6.4	アリューシャン列島 アンドリアノフ諸島				
4	10月08日12時49分	N51° 17.2'	W175° 10.8'	28	6.0		6.0	アリューシャン列島 アンドリアノフ諸島				
5	10月08日14時43分	N 2° 49.9'	E128° 13.6'	116	5.9		6.2	インドネシア、ハルマヘラ				
6	10月09日05時16分	S13° 52.8'	W 49° 13.7'	10	5.0			ブラジル	棚から物が落下			
7	10月13日23時06分	N35° 11.5'	W 97° 19.2'	13	4.3		4.4	米国、オクラホマ州	負傷者2人			
8	10月17日05時08分	S20° 25.2'	W173° 51.9'	57	6.0	5.9	5.9	トンガ諸島				
9	10月22日02時53分	N24° 39.8'	W109° 09.2'	10	6.2	6.8	6.7	メキシコ、カリフォルニア湾				
10	10月25日23時42分	S 3° 29.1'	E100° 05.2'	20	6.5	7.3	(7.7)	インドネシア、スマトラ南部	地震と最高7mの津波により、死者340人以上、行方不明者330人以上		○	○
11	10月26日04時37分	S 2° 57.1'	E100° 23.5'	26			6.3	インドネシア、スマトラ南部				
12	10月31日00時18分	S56° 46.0'	W142° 36.7'	20			6.4	太平洋-南極海嶺				

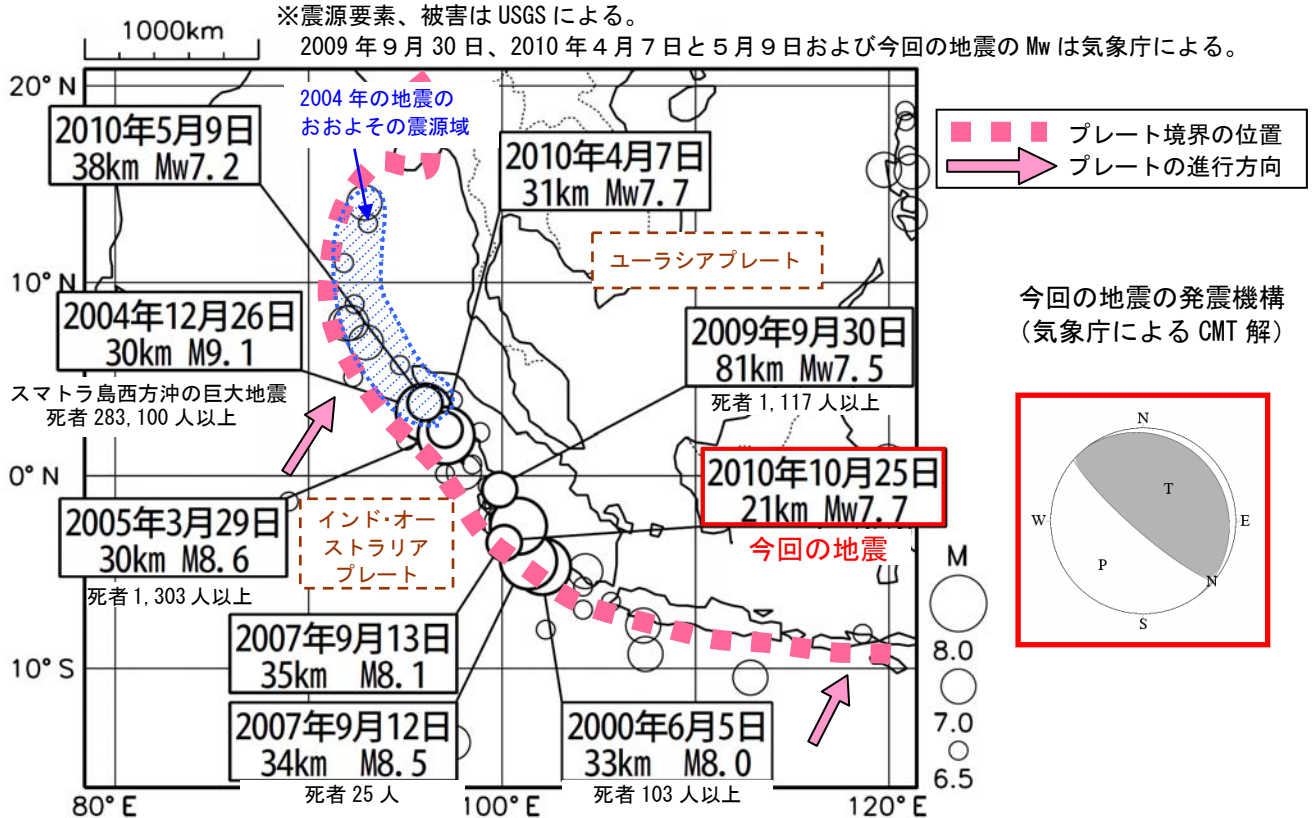
- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による（平成 22 年 11 月 8 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・ 「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報（TWI）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

# 10月25日 インドネシア、スマトラ南部の地震

2010年10月25日23時42分（日本時間）、インドネシアのスマトラ南部でMw7.7（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ユーラシアプレートと地下に沈み込むインド・オーストラリアプレートの境界で発生した地震である。この地震は2007年9月の地震（M8.5、M8.1）の震源域付近で発生した。

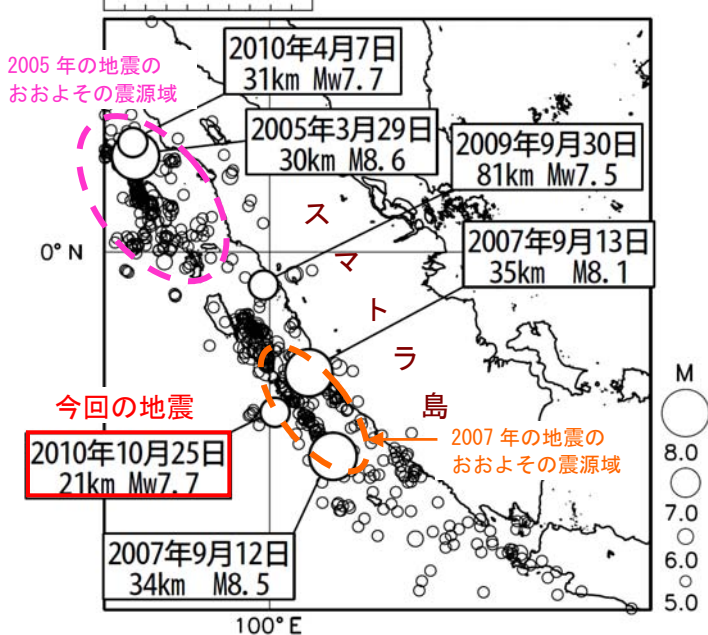
気象庁は、翌日の26日00時01分に「インド洋津波監視情報」を、26日00時08分に「遠地地震に関する情報」を発表し、その後も観測された津波の高さについて適宜情報発表を行った。この地震により、モーリシャス共和国のロドリゲス島で40cmの津波が観測されたほか、インド洋沿岸で津波が観測された（津波の高さは米国海洋大気圏局[NOAA]による）。また、スマトラ島西方沖のムンタワイ諸島を中心に、現地では死者が400人以上に達している（11月2日現在、インドネシア国家防災庁[BNPB]のホームページによる）。

震央分布図（1980年1月1日～2010年10月31日、深さ0～100km、M≥6.5）



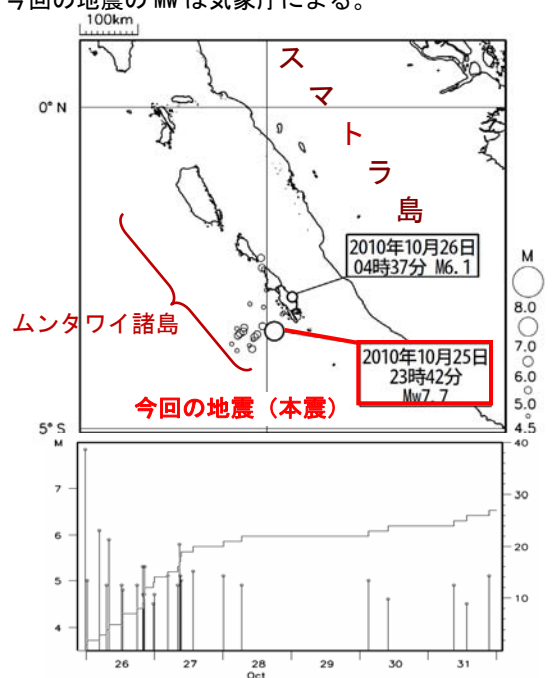
震央分布図（2004年1月1日～2010年10月31日、深さ0～100km、M≥5.0）

※震源要素は米国地質調査所(USGS)による。2009年9月30日、2010年4月7日および今回の地震のMwは気象庁による。



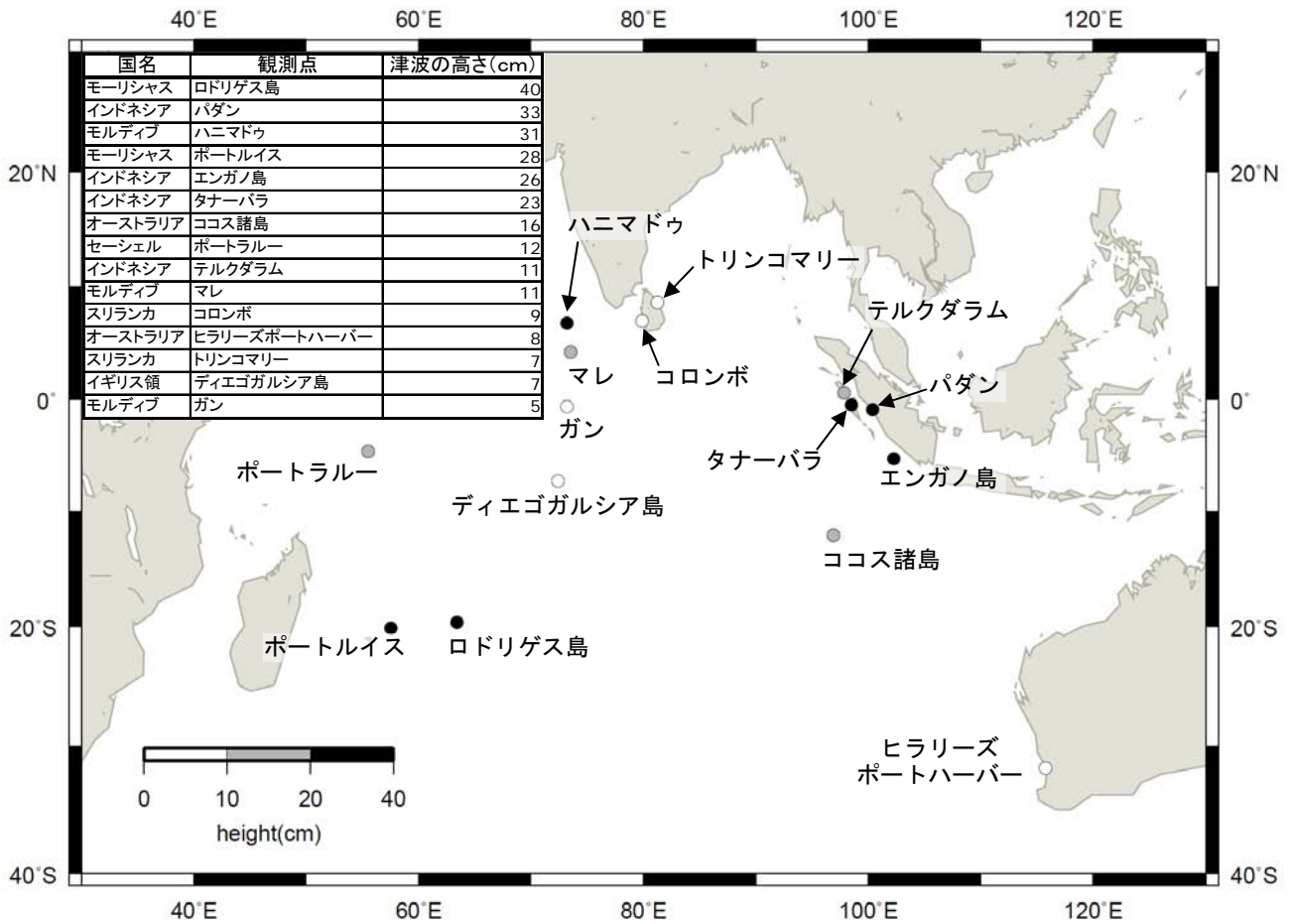
余震の震央分布図、地震活動経過図及び回数積算図（2010年10月25日23時～10月31日、深さ0～100km、M≥4.5）

※震源要素は米国地質調査所(USGS)による。今回の地震のMwは気象庁による。



検潮所で観測された津波の高さ

※観測値は米国海洋大気圏局 (NOAA) による。



気象庁にデータが提供されている観測点の津波波形 (高さ 10cm 以上の観測点)

